

山口県 人・農地プラン作成事例

周南市

プランを作成して意欲ある経営体を積極支援！

プラン名	徳山・菊川・向道地区人・農地プラン
プラン範囲	周南市 徳山・菊川・向道地区 該当集落（奥四熊・中野・瀬戸兼・東南野）
プラン決定日	平成 24 年 6 月 19 日
中心経営体	有限会社 1 社、認定農業者 2 人、新規就農者 1 人 農地集積面積：現状(H23)9.4ha、将来(H28)9.7ha、農地集積率：50%
連携農業者	1 人、提供予定農地面積 0.3ha
今後の地域農業のあり方	新規就農の促進、コメント：高齢化が進行しているため新規就農を推進する。

1 取組経緯

- ◆ 有限会社 1 社（畜産：肥育牛）には、スーパー L 資金の借入計画があった。
- ◆ 平成 24 年に、新規就農者 1 人があった。
- ◆ これら者の今後の営農取組を迅速に支援するため、プランを作成することとなった。

2 プランの特徴等

- 当面、スーパー L 資金の借入、青年就農給付金の交付を目的とした広域プランとなっている。
- 付近の水稻や野菜栽培の農家は高齢化しており、今後必要に応じて、農地集積を見込んだプランに随時更新していくこととしている。

3 プランの取組効果

- ◇ 有利な条件(5年間実質無利子)でスーパー L 資金が借入出来る見込みとなった。
- ◇ 青年就農給付金により、新規就農者は落ち着いて営農出来る見込みとなった。
- ◇ プラン作成による金銭的有利性は明らかで、他プラン作成への波及効果が見込まれている。



有限会社の肥育舎



有限会社の肥育牛